

第94回 全国高校野球選手権 静岡大会の結果

30年卒 滝口政俊

既にご承知とは思いますが、7月27日行われた夏の甲子園を目指す高校野球決勝戦の概報です。草薙球場の改修により、沼津の愛鷹球場が初めて主会場となった今大会。決勝戦の相手は、今季の公式戦2戦2勝の常葉橘、これに勝てば6年ぶり10度目の甲子園出場となる為、試合の推移を見つめるとともに、応援体制をいかにするかも同時に模索し続けた。結果は残念ながら、第3シードの母校がノーシードの常葉に敗れ準優勝、

甲子園出場の夢を無残にも碎かれてしまった。7回裏これまで力投し

てきたエース中本が打たれ、リリーフした1年生投手國松の好投もむなしく3点のビハインド。すぐ追撃態勢に移り8回表連打で2点を入れ1点差に迫る、なお1死満塁でスクイズ失敗（これが痛かった）、続く2死2・3塁のチャンスも生かせず、10安打を放つも今日だけは運命の女神が微笑まず試合終了。

選手諸君は過酷な練習に耐えた強靭な心身で、泥と汗にまみれ3度

の延長戦をも乗り越えここまで来たが、あと半歩、あと1点が遠かった。残念無念、くち惜しや！あ～ア暑い夏だった。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
静岡商	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3
常葉橘	0	0	0	1	0	0	3	0	x	4



瀬戸内寂庵の法話より (第1回)

35年卒 石谷義治

“聴いて笑って元気になる”をテーマに軽妙洒脱な文章で、決して奇を衒うものではなく、プラス思考の人生訓・辯説法読んでいて皆様心当りなものばかり、楽しく笑って元気になりましょう。

・「死んだら、どうなるって聞かれるけど、そんな事判らない」

だってまだ死んでないんだものね、皆様適當な事言っているけど、誰も知らないんですよ。映画に出ているけど、向こうで撮ってきた訳じゃない。こっちで全部撮ったんだから判らない。でも判らなくたっていいじゃありませんか。今生きていてもそうでしょう。予定を立てたってその通りにならない事が多い。だから先の事をくよくよ思い煩う事ないですよ。もう任せておけばいいんです。

・「亡くなった人の夢を見るのは、往生していないからなんて、そんな事はない」
往生してたって向こうは退屈だから出てくるんであって。

・「皆さんが、良い宗教か悪い宗教か見分けるのは、たった一つ」
お金を取るか取らないかです。金儲けをするのは、絶対だめなの。

・「愛するという事は、相手を思いやる事」

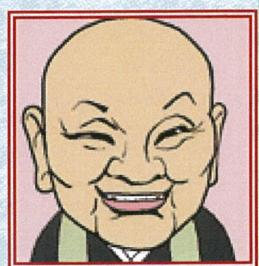
間違いの多くは、自分のしたい事を相手に押し付けて、自分は愛したって思っている事。

・「歳を取るという事は、枯れてしまう事じゃないです」

我々は死ぬまで可能性がある。自分を変革する事ができる。その可能性を引き出すことが「生きる」事。

・「我々は死ぬために、生まれてきているんですよね」

今をいかに生きるかという事を教えてくれるのが仏教です。だから葬式をしろとか、お墓は大きいのを建てろなんて事を、お釈迦様は言ってないんです。



今回はここまでとします。何となく身につまされる話もありました。

次回も、またお楽しみに！！